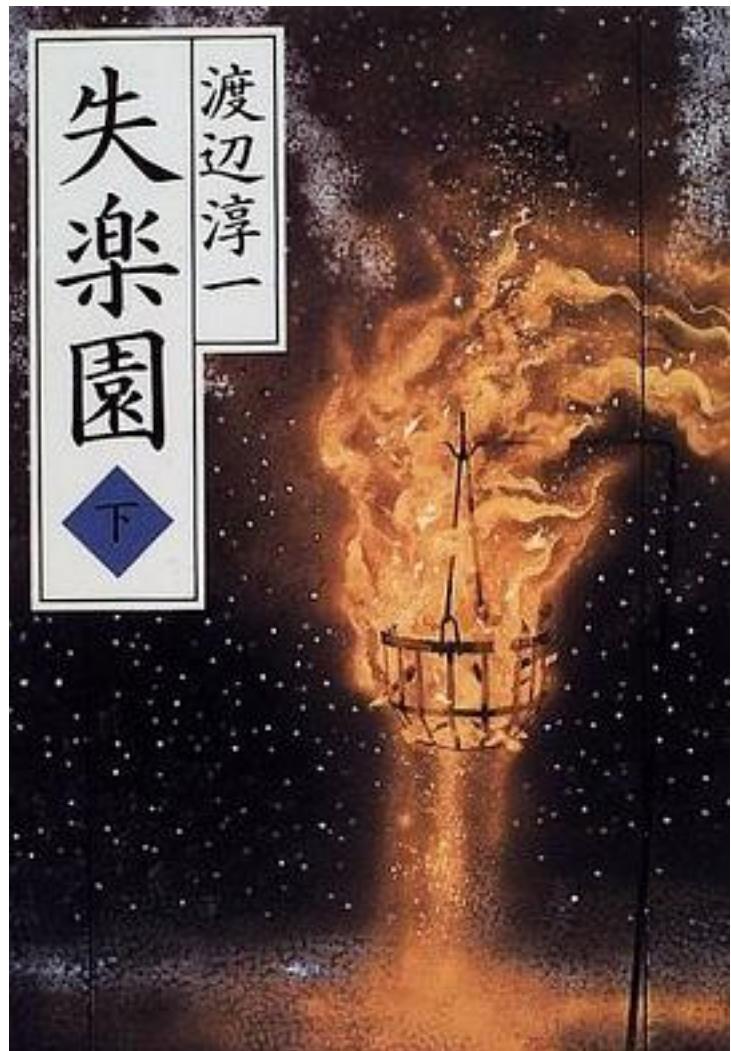


失樂園 (下)



[失樂園 \(下\) 下载链接1](#)

著者:渡辺淳一

出版者:講談社

出版时间:1997/02

装帧:单行本

isbn:9784062085748

【新風賞（第32回）】たった一度の生だから、この人を永遠に自分のなかにとどめておきたい…。男と女の性愛の真髄を描き、新聞連載中から圧倒的な反響をまき起した注目の長編。

二人が育んだ絶対愛の世界。

たった一度の生だから、この人を永遠に自分のなかにとどめておきたい。男と女の性愛の真髄を描き、新聞連載中から圧倒的な反響をまき起した注目の文芸大作。

二人の肌と肌は、一分の隙もないほど密着し、毛穴のひとつひとつまで重なり合うほどに馴染み合っている。

「気持ちがいい……」

それは、久木の全身の皮膚からでた溜息であり、悦びである。

その沸々と、躯の内側から湧きおこるような快感に浸りながら、久木は改めて肌と肌と触れ合う感触が、心の安らぎとともに、ある諦観を生みだしていることに気がつく。

「そうか……」久木は、凛子の柔らかい肌に向かってつぶやく。

「こうしてなら、死ねるかもしれない」

女の肌につつまれると、男はかぎりなくおだやかに、そして従順になる。そのまま、いつか母に抱かれている少年になり、胎児になり、その先は精液の一滴となって消えていく。——（本文より）

作者介绍:

〈渡辺淳一〉 1933年北海道生まれ。札幌医科大学医学部卒業。小説家。「光と影」で直木賞、「遠き落日」等で吉川英治文学賞受賞。他に「ひとひらの雪」「花埋み」「いま脳死をどう考えるか」など多数。

目录:

[失乐园\(下\) 下载链接1](#)

标签

渡辺淳一

日本文学

小说

Novel

Japan

评论

[失乐园\(下\) 下载链接1](#)

书评

[失乐园\(下\) 下载链接1](#)